

知事と区市町村長との意見交換（三鷹市）

令和1年10月21日（月）

16時20分～16時40分

○**行政部長** それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○**知事** お忙しいところ、新宿までお出ましいただきました。ありがとうございます。都政運営に多大な御理解いただいておりますこと、改めて御礼申し上げます。

ワールドカップ、昨日は残念な結果ではございますが、でも大変な盛り上がり。来年の2020大会はまさしく東京ということで、いろいろとこれからも準備を進めていかなければなりません。

そういう中で、長期戦略を今描いておりまして、三鷹市の考え、またこうやりたいなというような御意見等いただければということで、短い時間ではございますが、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

○**行政部長** では河村市長、よろしくお願いをいたします。

○**三鷹市長** どうもありがとうございます。三鷹市長の河村孝です。本日はこのような貴重な機会をつくっていただきまして、誠にありがとうございます。三鷹市からは3点ほどお話をさせていただきたいと思っています。

1点目は都市計画道路のことでございます。参考資料として地図も御用意いたしましたので、御覧いただきながらお聞きいただければというふうに思っています。

三鷹市は狭い地域でございますが、ちょうど東側で東京外郭環状道路のジャンクションとインターチェンジの工事が進んでいます。

供用が開始されますと、多くの車両が市の東部地域に集中することが想定されております。この間、地元自治体等の意見を反映し、国と東京都が策定した「東京外郭環状道路対応の方針」が出来まして、先日それに基づいて東八道路の方は延伸し、放射5号線と接続して供用を開始されたところでございます。

知事にもテープカットに来ていただきまして、並んでテープカットができたことを、本当に幸せに思います。

東八道路以南の都市計画道路の整備は着実に事業化されておりますので、本当に心から建設局の皆さんにも感謝申し上げたいというふうに思っているところでございます。

一方、東八道路以北につきましては、十分な幹線道路のネットワークが形成されていないことや、周辺地域の生活道路への通過車両の流入が懸念されます。

どうしても道路は全体が完成されないと、生活的な道路の空間にも車が進入する傾向がございます。特に連雀通りの整備が三鷹の場合は、スピード感を持って進めることがかなり重大な問題になっておりまして、第4次事業化計画で優先整備路線となっておりますが、東八道路の以北の都市計画道路網につきましても、かなり一生懸命早期の事業化を進めていらしていることは了解しておりますが、さらに事業化の促進をお願いするところでござ

います。

今後、都市計画道路の事業化にあたりましては、三鷹市におきましても東京都の皆様の御努力に併せて、道づくりとまちづくりが一体的に進められるように努力してまいりたいと思っておりますので、この件につきまして特段の御配慮をよろしくお願い申し上げたいというふうに思っています。

2点目は保育人財の確保等についてでございます。保育事業におきましては、東京都が単独で実施する保育士等キャリアアップ事業、あるいは保育従事職員宿舍借り上げ支援事業等が、市町村にとっても極めて有効な支援策となっております。

しかしながら補助期間が令和2年度までと限られているため、事業者からは特に継続の実施を強く望む声が届いております。引き続き、できる限り長期間に亘り補助制度を継続していただくことを要望いたします。

本当に東京都の皆様の御努力によりまして、待機児童も着々と減少傾向が見られますので、この点を強くお願いしたいというふうに思っているところでございます。

また、保育を必要とする未就学児が年々増加する中、幼稚園では保育園利用者の増加に伴い、定員割れが生じてきています。今後、保育に対する需要の伸びを想定すると、今まで以上に幼稚園が果たす役割が大きくなっていくというふうに考えております。幼稚園の今後の経営に関わることでもありますので、保育園と同様に保育ニーズを受け止められるよう、幼稚園の機能転換を促すためのインセンティブとなる東京都の施策誘導をぜひお願いするところでございます。

また、三鷹市の特殊な事情なんでもございますが、事業所所在地の賃金水準を運営費に反映するための地域区分について、三鷹市は隣接市と比較して著しく合理性を欠くものとなっておりますので、ようやく国の方でも様々な要望活動をする中で、「子ども・子育て会議」でもその在り方が課題として強く取り上げられているところでございますが、ぜひ小池都知事のお力もお貸しいただきまして、後押しをお願いしたいというふうに考えているところでございます。

3点目は市町村総合交付金についてでございます。平成30年度に市町村総合交付金の見直しが行われまして、政策連携枠が設けられました。そしてまた改善、拡充を図っていただいております。

しかし、この政策連携枠につきましても、交付対象に一定の制限があり、市町村の使い勝手に支障があるという指摘もございます。ぜひ三多摩格差の解消に向けて、市町村総合交付金のさらなる対象事業の拡充と柔軟な対応、交付金予算の総額の拡充を強くお願いしたいというふうに思っているところでございます。

以上3点でございますが、よろしく御返答の方をお願いいたします。

○知事 まちづくりから人づくりまでの話であったかと思えます。ありがとうございます。

まず御要望の都市計画道路でございますけれども、開通式の方も伺わせていただいて、新しい道路として緑豊かな道路といっても、よくグレイインフラと言われますけれども、それがグリーンインフラの一つとして出来上がって、素晴らしい道路だと思います。

交通の円滑化、それから地域の健全性の向上に資する重要な道路でありますし、また都としても引き続き事業化等に向けて取り組んでいきますが、これらの路線の整備については、市の協力も不可欠でございますので、今後とも連携を図りながら進めていきたいと、このように考えております。

それから人づくりの方の待機児童でつい3年前270名が、今114名ということでございます。引き続き待機児童対策、これは都民にとっても大変優先度の高い政策課題でございますので、私どもも、また私としても最優先事項として取り組んできたものであります。

それで平成29年度からの全ての事業に待機児童対策だけでなく、ありとあらゆる対策があるわけですが、それ一度見直しをしまして、時代の変遷であるとか、事業によってもう完遂しているものとか、そういったものを一度見直すことによって、効果的な検証を行って施策の効率性とか、実効性を高める取り組みを進めてまいりました。

それで待機児童対策ですけれども、この事業の継続についても令和2年度、予算編成の中で検討していく考えであります。

それから全体の保育施策の方向性であります。それぞれ現場である三鷹市様のような自治体の皆様の御意見をこうやってお聞きすることは大変重要でございますし、現在、第2期東京都子供・子育て支援総合計画を策定中でございますけれども、こちらにお示しをしていきたいと考えております。

それから保育人財の確保と、保育の需要への対応施策であります。いよいよ消費税の税率がアップされまして、また幼保の無償化が国でも始まったわけでございますが、一方で幼稚園の役割も大切だというふうに認識しております。

都としましては、都内の私立幼稚園に対しましては、基幹的な補助である経常費補助、これを実施しているのは御存じのとおりであります。

それと長時間の預かり保育を実施している私立幼稚園がありますが、そちらはTOKYO子育て応援幼稚園と名付けております。そして都独自の補助に取り組んでおまして、引き続きその充実努めていきたいと考えております。

それから公定価格の地域区分については、国家公務員の地域手当の設定に準拠されていることから、様々な課題があろうかと思っております。

三鷹市等においては、同じ生活圈や経済圏を構成する周辺の自治体と比較して低い設定になっているということから、今の話が出てくることについては認識しております。そのため、地域区分の適正化については、これは国に提案をすることによって、既に提案要求を行っているところでございますが、引き続きまして皆さま方と連携しながら国にまず要望を続けていくということが必要かと思っております。

それから市町村総合交付金でございますが、こちらの方も私自身、よりそれぞれの所で活性化していただきたいということから、重要な財源補完制度だというふうに認識しておまして、こちらの方も皆さんの意見を賜って、制度をさらに充実する等努めていきたいと思っております。

○行政部長 河村市長、もし、何かございましたらよろしく申し上げます。

○三鷹市長 まず最初の1点目のところなんですけれども、この外環の問題というのは結構昔から積み重ねている問題で、昔は本当に反対運動が強かったんですけれども、東京都の方で、国も含めて大深度地下で外環を通すということで、ようやく周辺の皆さんも、「では協力しようか」というような気運が生まれてきて、現在上部を公園にして、日比谷公園と同じぐらいの面積の公園にして、下をインターと、そういうジャンクションで作ろうということで、東八道路と結ぶということになっているわけです。

それでも市民の皆さんをはじめとして、地域の地権者の方に納得してもらうためには、周辺の道路も含めた都市計画道路を、市の道路もあれば、東京都の道路もあるんですが、そういうものを整備していくということをお互いに確認しあった中で実行に移されてきた経過がございます。

とは言っても、道路の整備というのは時間が掛かりますし、しかもそれぞれに地権者がいらして、先様のいる話なので、そんなに思いどおりにならないことは私共も十分承知しております。

ただ、それはぜひ外環が完成するまでの間、まだまだ時間がありますから、市も一体的な整備に御協力いたします。周辺の方の不安を除いていくことが素晴らしいことだというふうに思っていますし、完成すれば羽田とか、そこまで行かなくても東名の方から、あるいは都心の方へ素晴らしい時間で皆さんが御利用できるという利便性の確保という面では素晴らしい成果が都市づくりにおいてなされるというふうに思っていますので、市としても全力で御協力していきたいというふうに思っていますので、よろしくお願いします。

保育の人材の確保等の問題については、まさに御指摘のように様々な観点から、待機児童ゼロのまちづくりを目指していきたいんですけれども、三鷹市はそれほど大きな市ではありませんので、そういう意味ではまだ脆弱な経営基盤であるというふうに思っています。

ですから、そういう意味で東京都さんの様々な御支援をいただきながら、人財づくりをしていこうというふうに考えています。

それと同時にまちとしてももちろん、知事もお話のあったように、幼児教育・保育の無償化に基づいて、財源が若干浮くところがありますので、今回そのことを三鷹市としては基金に積み上げて、子供の問題について積極的に市としても取り組んでいこうというふうな市政をしているわけでありますが、ぜひとも独自の補助金等の拡充を図っていただき、まさに市民でもありますが都民でもあります、お住まいの方々のお子さん達でありますから、一緒になって育成を図っていきたいというふうに思っています。

総合交付金は先ほど申し上げたように、もう既にいろいろな工夫をされていると。非常に使い勝手は、よくなっていますし、そういう意味では対象も拡大していただいているのは十分承知はしていますが、まだ全体として三多摩格差という視点で言いますと、もう一段と使い勝手のいい、拡充された交付金をお願いしたいということで、お話を申し上げたところでございますので、特段の御配慮をよろしくお願ひしたいというふうに思います。

○総務局長 総務局長の遠藤でございます。若干繰り返しになりますけれども一つ、3・4・7、3・4・12の2つの都市計画道路でございますが、こちらについては我々としても非常に重

要な道路だというふうに認識しておりますし、三鷹市さんと建設局の間でもいい関係が築けているというふうにはお聞きしておりますので、ぜひ協力しながら進めていきたいというふうに考えております。

それから総合交付金についてですが、各市町村の皆さんから多大な御期待をいただいております。政策連携枠をつくった時からいろんな議論はありました。そういう御要望も検討しながら、来年度予算について総務局としてもよく考えていきたいと思っておりますので、またよろしく願いいたします。

○行政部長 ではそろそろお時間になります。最後に知事から一言、お願いいたします。

○知事 人づくりとそれから道づくりと両方の御意見をちょうだいいたしました。年末までにビジョンを策定をいたしてまいりますので、また何かございましたらおっしゃっていただければと思います。本日はどうもありがとうございました。